

天守の修復

2017年、熊本市の大西一史市長は、2つの天守の修復を最優先課題に掲げ、2016年の地震から同市が復興したシンボルにすることを宣言しました。外壁や櫓門を修復すると、重機の交通に支障をきたす可能性があるため、本丸から修復工事を開始することが現実的な合理性にかなっていません。2017年4月には、重機のためのアクセススロープ2本と、屋根修理中に雨から櫓を守るための防護構造物の建設を手始めに、作業が開始されました。2018年4月にはさらに大きな大天守の屋根の修復が完了し、2018年7月には両天守の天守台の再建工事が始まりました。大天守の外観は完全に修復され、2021年春には両天守内部の耐震補強工事が完了しています。